事業番号

2023 - 文科 - 22 - 0121

令和5年度行政事業レビューシート		(文部科学省)					
事業名	アイヌ子弟高等学校等進学奨励費補助(高校・高専)		担当部局	初等中等教育局	作成責任者		
事業開始年度	昭和50年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	修学支援・教材課高校修学支援室 高校修学支援室長 林 正敏		
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する 計画、通知等	「アイヌ政策のあり方に関する有識者懇談会」報告書 (平成21年7月29日)			
政策	2 確かな学力の向上、豊かな心と健やかな体の育成と信頼される学校づくり		主要経費	教育振興助成費			
施策	2-6 教育機会の確保のための支援づくり						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221215-mxt_kanseisk01-000026547-12.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	北海道に居住するアイヌの子弟で、将来社会において有為な人材として活躍することが期待されながら経済的な理由によって進学後修学が困難な者に対して、北海道が奨学金及び通学用品等助成金の給与を行う場合、これに必要な経費の一部を国が補助することにより、北海道のアイヌ子弟の高等学校等への進学を促進することを目的とする。						
現状・課題 (5行程度以内)	北海道が実施するアイヌ生活実態調査(H29年調査)によると、高校等への進学率(以下、「一般進学率」という。)は98.8%である一方、アイヌ子弟の高校等への進学率は95.1%と低い。 なお、アイヌ政策のあり方に関する有識者懇談会は、生活向上関連施策として引き続き高校等への進学支援を実施していくことを求めている。						
事業概要 (5行程度以内)	北海道に居住するアイヌの子弟で、将来社会において有為な人材として活躍することが期待されながら経済的な理由によって進学後修学が困難な者に対して、北海道が奨学金及び通学用品等助成金の給与を行う場合、これに必要な経費の一部を国が補助する。						
事業概要URL	-						
実施方法	補助						
補助率等	○補助率:1/2以内 ○補助対象経費 【高校】奨学金:国公立 23,000円/月、私立 43,000円/月 通学用品等助成金:国公立 24,200円/年、私立 54,760円/年 【専修学校等】奨学金:23,300円/月 通学用品等助成金:24,200円/年						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の 状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	32.3	32.2	30.8	30.6	30.6
執行額(G)	28.3	28.4	25.9				
執行率(%) =(G)/(F)	88%	88%	84%				
当初予算+補正予算に対する執行額の 割合(%) =(G)/{(A)+(B)}	88%	88%	84%				
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	初等中等教育振興費			※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。		
	(目)	教育振興事業費補助金	30.6	30.6			
		その他					
	計(A)	30.6	30.6				

活動内容① (アクティビティ)	北海道に居住するアイヌの子弟で、将来社会において有為な人材として活躍することが期待されながら経済的な理由によって進学後修学が困難な者に対して、北海道が奨学金及び通学用品等助成金の給与を行う場合、これに必要な経費の一部を国が補助する。									
↓										
活動目標及び活動実績① (アウトプット)	活動目標	活動指標	/	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	北海道が行う奨学金の給与による高校等への進学の促進	給与人員	活動実績	人	280	262	248	-	-	
			当初見込み	人	309	299	278	276	276	
↓	成果目標①-1の設定理由 (アウトプットからのつながり) <p>経済的な理由によって進学後修学が困難な者に対して、北海道が奨学金の給与を行うことで、アイヌ子弟の高校等進学率の向上が期待できるため、成果目標として設定。 なお、根拠として用いた統計・データ名(出典)は、北海道アイヌ生活実態調査報告書である。</p>									
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標	/	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度		
	アイヌ子弟の高校等進学率を一般進学率まで引き上げる。 ※目標値は、当該年度の北海道調査における一般進学率とする。	高校等進学率(アイヌ生活実態調査) ※当該調査はH25,29年に実施されている。 (参考) H25年成果実績:92.6% (一般進学率:98.6%) H29年成果実績:95.1% (一般進学率:98.8%)	成果実績	%	-	-	-	-		
			目標値	%	-	-	-	98.8		
			達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績	北海道アイヌ生活実態調査報告書 ※目標最終年度の目標値は、平成29年の北海道調査における一般進学率としている。									
アウトカム設定についての説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
	-									
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
	北海道が行う奨学金の給与が、最終目標であるアイヌ子弟の高校等進学率の向上に直接結びつくことが期待できるため。									

活動内容② (アクティビティ)	北海道に居住するアイヌの子弟で、将来社会において有為な人材として活躍することが期待されながら経済的な理由によって進学後修学が困難な者に対して、北海道が奨学金及び通学用品等助成金の給与を行う場合、これに必要な経費の一部を国が補助する。									
↓										
活動目標及び活動実績② (アウトプット)	活動目標	活動指標	/	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	北海道が行う通学用品等助成金の給与による高校等への進学の促進	給与人員	活動実績	人	105	80	84	-	-	
			当初見込み	人	114	110	87	100	100	
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり) 経済的な理由によって進学後修学が困難な者に対して、北海道が通学用品等助成金の給与を行うことで、アイヌ子弟の高校等進学率の向上が期待できるため、成果目標として設定。 なお、根拠として用いた統計・データ名(出典)は、北海道アイヌ生活実態調査報告書である。									
成果目標及び成果実績②-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標	/	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度		
	アイヌ子弟の高校等進学率を一般進学率まで引き上げる。 ※目標値は、当該年度の北海道調査における一般進学率とする。	高校等進学率(アイヌ生活実態調査) ※当該調査はH25,29年に実施されている。 (参考) H25年成果実績:92.6% (一般進学率:98.6%) H29年成果実績:95.1% (一般進学率:98.8%)	成果実績	%	-	-	-	-		
			目標値	%	-	-	-	98.8		
			達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	北海道アイヌ生活実態調査報告書 ※目標最終年度の目標値は、平成29年の北海道調査における一般進学率としている。									
アウトカム設定について の説明	アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由									
	-									
	アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由									
	北海道が行う通学用品等助成金の給与が、最終目標であるアイヌ子弟の高校等進学率の向上に直接結びつくことが期待できるため。									

なお、金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。

文部科学省

R4 補助額：26百万円

北海道に居住するアイヌの子弟で、経済的な理由によって進学後修学が困難な者に対して、北海道が奨学金及び通学用品等助成金の給与を行う場合、これに必要な経費の一部を補助する

補助
申請

補助
1/2
以内

【補助金等交付】

A. 北海道

R4 給与額：52百万円

アイヌの子弟で、経済的な理由によって進学後修学が困難な者に対して、奨学金及び通学用品等助成金の給与を行う

給与

アイヌ子弟（高校・高専）

R4実績

区分	人員	金額
奨学金	248人	49,259,915円
通学用品等助成金	84人	2,630,610円
計	-	51,890,525円

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金 額が支出されている者 について記載する。費目と 使途の双方で実情が分 かるように記載)	A.			B.			
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
	補助金	奨学金(25百万円) 通学用品等助成金(1百万円)	26				
計		26	計				
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)	
1	北海道	7000020010006	経済的な理由により、修学困難なアイヌ子弟に対して、奨学金等の給与を行う	26	補助金等交付	-	-		
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載								チェック	